

科目区分・分類	専門・講義	対象学科名・学年	環境都市4年	科目コード	49501471
科目名	環境生態学 Environmental Ecology				
担当教員	竹内 美晴				
単位数(時間数)	必修 通年 2単位 (60時間)	学習・教育目標との対応	(D-1)(D-2)		
授業の目的と概要	生態学を基礎とし、自然環境におけるビオトープの必要性と理念を学び、その上で自然と共生したまちづくり、川づくり、さらにこれらに係るビオトープ型志向の土木工学や都市・農村づくりなどの計画・設計に応用できる基礎知識を得る。				
先修科目	生物				
後修科目	環境アセスメント				
備考	動物・植物の分布、生態学、ビオトープと結びついた建設工法、環境関連法規などの知識が大切である。				
	授業項目	時間	内容		
1	生命の誕生	2	地球の生命の歴史が理解できる。		
2	いきものとはなにか	2	生物の基礎知識が理解できる。		
3	植物の進化	2	植物の進化が理解できる。		
4	動物の進化	2	動物の進化が理解できる。		
5	生態系の基本的構造	2	生態系の基本的構造が説明できる。		
6	生態系の成り立ち	2	生態系ピラミッド、食物連鎖など生態系の構造が理解できる。		
7	生態系の成り立ち	2	生態系ピラミッド、食物連鎖など生態系の構造が理解できる。		
8	いろいろな生態系	2	生態系の移り変わりについて理解できる。		
前期中間試験					
9	生物群のつながり	2	生物群の相互関係が理解できる。		
10	環境関連法規 (国内法) / 種を守るための法律	2	生物群の相互関係が理解できる。		
11	環境関連法規 (国内法) / 生態系を守るための法律	2	生物群の相互関係が理解できる。		
12	環境関連法規 (国内法) / 環境を守るための法律	2	生物群の相互関係が理解できる。		
13	環境関連法規 (国内法) / その他の法律	2	生物群の相互関係が理解できる。		
14	環境関連法規 (国際法)	2	生態系を守る国際法について説明できる。		
15	ビオトープの基本理念	2	ビオトープの基本理念について説明できる。		
前期期末試験					
16	ビオトープネットワーク	2	ビオトープネットワークの意義が理解できる。		
17	ビオトープネットワーク	2	地球上のビオトープネットワークについて説明できる。		
18	生物多様性とは何か	2	生物多様性の意義が説明できる。		
19	生物多様性の危機	2	生物多様性の危機が説明できる。		
20	日本の生態系破壊の現状	2	経済発展と生態系破壊の関係が説明できる。		
21	日本の生態系破壊の現状	2	日本における生態系破壊の問題点を説明できる。		
22	日本の生態系破壊の現状	2	身近な生態系破壊の問題点を説明できる。		
後期中間試験					
23	持続可能な社会に向けて	2	人間の社会活動と自然環境との関わりの中で環境問題を捉えることができる。		
24	持続可能な社会に向けて	2	持続可能な発展のあり方と自然環境との共生について説明できる。		
25	ミティゲーション	2	ミティゲーションについて説明できる。		
26	ミティゲーション	2	ミティゲーションの具体的方法について理解できる。		
27	いろいろなビオトープ	2	日本における事例をとおして、ビオトープについて理解し、説明できる。		
28	いろいろなビオトープ	2	身近な事例をとおして、ビオトープについて理解し、説明できる。		
29	いろいろなビオトープ	2	生態系の保全や回復に関する実践的手法について説明できる。		
30	もう一度ビオトープを考える	2	現在求められているビオトープがどのようなものか説明することができる。		
学年末試験					

学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	生態系の基本，環境関連法，ビオトープの基本を理解し，生物多様性やミティゲーションについて説明できること． これらの内容を満足することで，学習・教育目標（D-1），（D-2）の達成とする．
成績評価	生態系の基本，環境関連法，ビオトープの基本を理解し，生物多様性やミティゲーションについて説明できること． これらの内容を満足することで，学習・教育目標（D-1），（D-2）の達成とする．
教材	参考書：教員の作成した資料
オフィスアワー	竹内教員へのメールによる問い合わせ可：mipatake@yahoo.co.jp